

「お盆^{ぼん}」のこと ちゃんと知ってる？

Q、「お盆」のとき、
お内仏はどうしたらいいの？

A、お盆のおかざりは^{きりこどうろう}切籠灯籠。

真宗大谷派の作法でのお盆のおかざりは、平常時の三具足（みつぐそく）に、打敷（うちしき）を上卓（うわじょく）と前卓（まえじょく）に掛け、お華束（けそく）をお備えします。

打敷の色や絵柄などは特に規定はありません。お華束は白餅の杉盛（すぎもり）が望ましいですが、できない場合は白餅をそのままお備えください。蠟燭は朱蠟燭を使用します。

また、お盆をお迎えする前には、お内仏（仏壇）の掃除や仏具のおみがきを行いましょ。

なお、浄土真宗では盆棚（精霊棚）、ナスやキュウリの精霊馬はかざらず、迎え火や送り火も行いません。そして、切籠灯籠（きりこどうろう）をお内仏の前に吊るします。

Q、**そもそも「お盆」って何ですか？**

A、**仏弟子・目連尊者に由来します。**

お盆は「盂蘭盆会（うらぼんえ）」といい、昔のインドの「ウランバナ」という言葉に由来します。ウランバナとは逆さ吊りという意味の言葉です。『盂蘭盆経』というお経にこのようなお話があります。

お釈迦様のお弟子・目連（もくれん）尊者は、亡くなった母親が餓鬼道（がきどう）に落ち、逆さ吊りにされて苦しんでいることを知りました。そこでお釈迦様にどうしたら母を救うことが出来るかとお尋ねしたところ、「夏安居（げあんご・雨期の修行期間）の終わる7月15日（旧暦）「仏歡喜の日」に、自分の得たものを他の多くの人々に施し、供養しなさい」と説かれ、それにより母親が逆さ吊りの苦より救われたとあります。

これに由来し、7月から9月にかけて（地域等によって異なります）、法要、法話などがおつとめされます。

Q、「お盆」って**何をするの？**

A、**お寺にお参りし、
仏さまの教えを聞きましょう。**

お内仏やお寺での法要、お墓参り、また盆踊りのような催事。お盆といっても宗派や地域によって色々な風習があり、その意味合いも様々です。

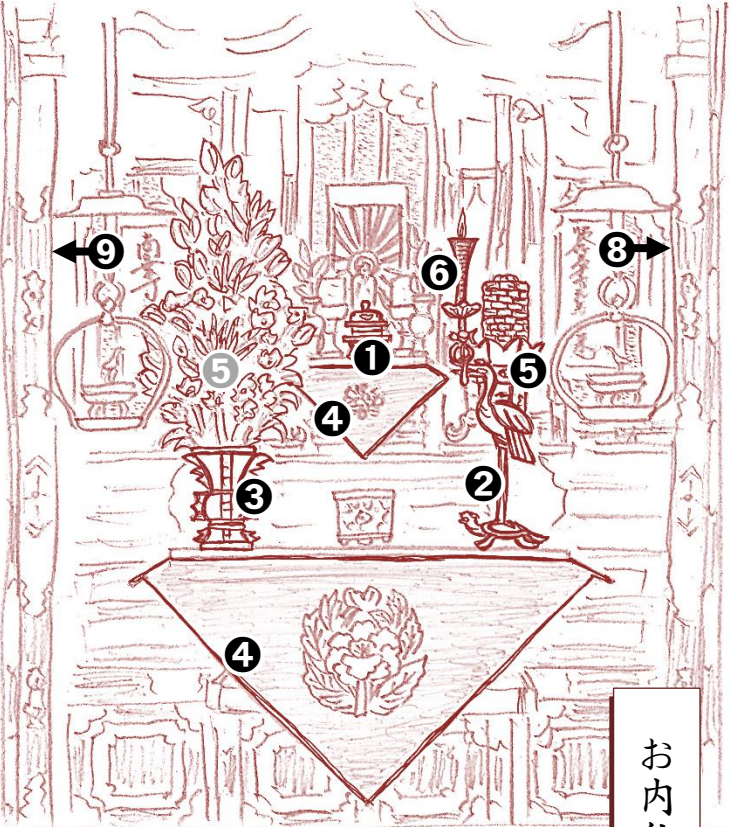
例えば、「お盆には先祖の霊が帰ってくる」と言われ

ます。しかし仏教では亡くなった人は「霊」としてではなく「諸仏（しょぶつ）」といただいています。つまり、生きている私たちが、ご先祖に対して「安らかに眠りください」「あの世”で幸せになってください」と思いながら手をあわせるということはおかしなことです。

生きている私たちが亡き人に対して何かをしてあげるということではなく、亡き人々は、私たちのあり様を照らす“仏さま”なのです。それは阿弥陀仏（あみだぶつ）の救いのはたらきかけです。

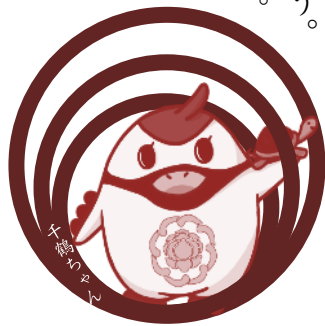
阿弥陀仏は私たちを見捨てずに必ず救うとお誓いになられました。宗祖・親鸞聖人（しんらんしょうにん）はそれをただ信じ南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）とお念仏を称える、唯一の救いの道を歩まれました。

常に仏さまから救いの道をいただいているのが私たちです。とてもありがたいことだと思います。ですから、お盆だからといって特別なことがあるわけではありません。しかし、普段の忙しい生活の中では、心静かに仏さまに手をあわせることが難しいという方も多いと思います。お盆の機会にぜひお寺にお参りし、仏さまの教えに出あうご縁をお持ちください。



お内仏（お盆のおかざり）

- ① 火舎香炉 かしゃこうろ
 - ② 鶴亀 つるかめ
 - ③ 花瓶 かひん
 - ④ 打敷 うちしき
 - ⑤ お華束（杉盛） けそく すぎもり
☆三具足（①②③）は平生のおかざりです。
☆左右対でお備えます。
 - ⑥ 朱蠟燭 しゆろう
 - ⑦ 切籠灯籠 きりこどうろう
☆お内仏の前に左右対で吊るします。
 - ⑧ 法名軸 ほうみょうじく
☆右の側面に掛けます。
 - ⑨ 合幅の法名軸 がひらみ
☆左の側面に掛けます。
- ⑦⑧⑨は絵にありません



真宗大谷派名古屋別院（東別院）

〒460-0016

名古屋市中区橋二丁目8-55

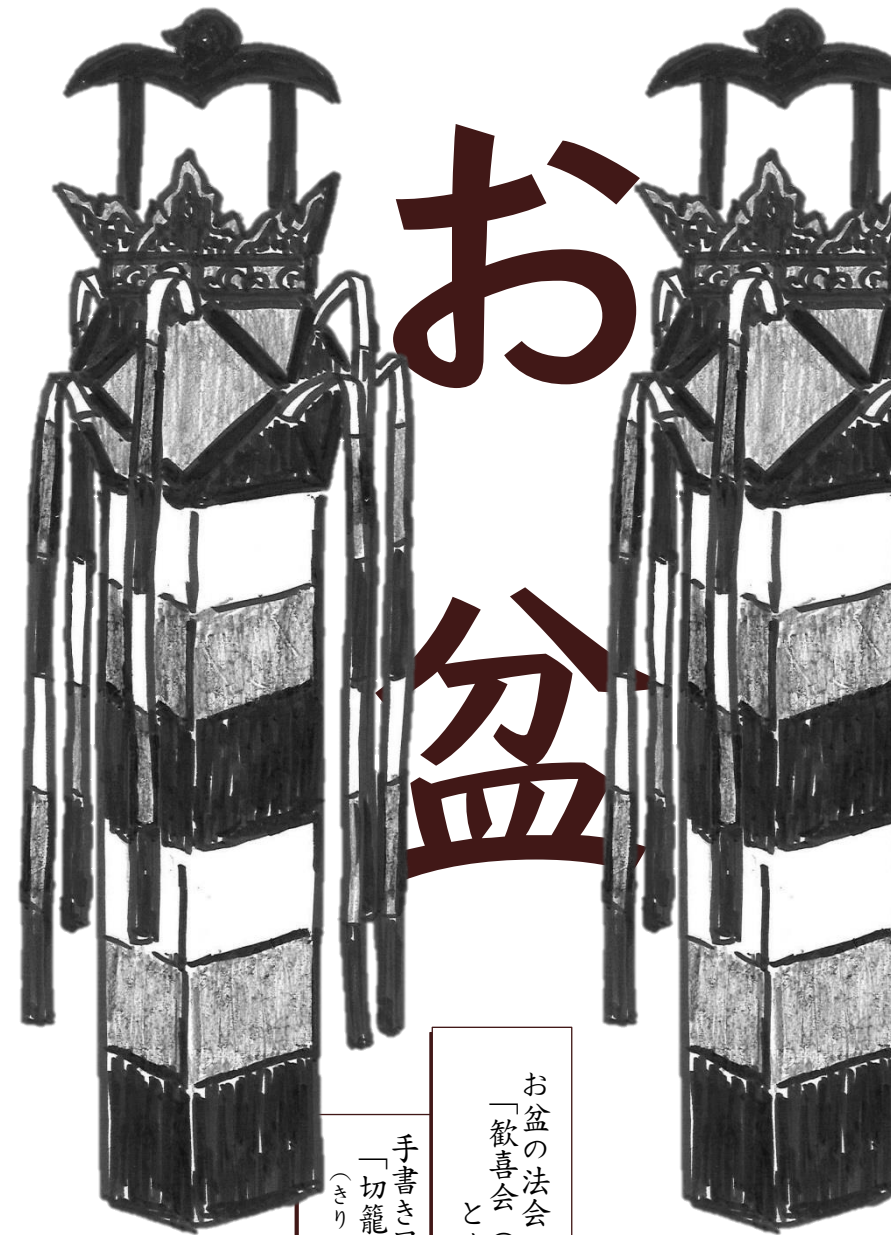
でんわ 052-321-9201(代)

ファクシミリ 052-321-3184

「お東ネット」 <http://www.ohigashi.net/>



ご先祖をおもい、いま生きている私たちが仏さまの教えに出あつていくことが肝要です。ぜひともに仏法聴聞いたしましょう。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。



お盆の法会のことを
「歓喜会（かんぎえ）」
ともいいます。

手書き風の絵は
「切籠灯籠
（きりこどうろう）」です。